

粟ノ保小学校 令和5年度 2学期学校評価（教職員）

A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

1 教育目標

R5 2学期 R4 2学期

No.	評価の観点	R5 2学期				R4 2学期			
		A	B	C	D	A	B	C	D
1	児童は、「主体的・対話的に学ぼう」としている。（教育目標）	8	4			8	6		
2	児童は、「心豊かに未来を切り拓こう」としている。（教育目標）	9	3			9	5		
3	児童は、元気に挨拶している。（ひまわり憲法）	10	2			8	6		

もっと授業の中で子どもたちが自己選択、自己決定する場面を増やす。子どもたちが集団の中で学ぶ場面を増やし、教師主導の時間を減らす。あいさつ運動を7時半にしているが、朝早いめか参加しない児童が決まっている。全員が参加できる時間に行ったらどうか。休み時間や長休みなど。廊下でお客さんに会った時に「こんにちは」のあいさつをしている児童が少ないので、「こんにちは」を強化するのはどうか。

2 めざす教職員像

R5 2学期 R4 2学期

No.	評価の観点	R5 2学期				R4 2学期			
		A	B	C	D	A	B	C	D
1	児童一人一人の理解に努め、鍛えて伸ばそうとしている。	11	1			10	3		
2	豊かな人間性と確かな指導力向上に努めている。	11	1			11	2		
3	児童、保護者、地域住民から信頼されている。	7	4	1		9	4	1	

年配のボランティアさんが多く、今年度でやめられる方が2人いる。ボランティアさんの応募をかけるなどして、地域とのつながりが切れないようにしていかなければならない。

3 確かな学力をはぐくむ

R5 2学期 R4 2学期

No.	評価の観点	R5 2学期				R4 2学期			
		A	B	C	D	A	B	C	D
1	粟ノ保学習スタンダードを基盤とした授業の確立に努めている。	7	3			9	3		
2	朝自習や粟Tや暗唱活動の指導に継続的・計画的に取り組んでいる。	9	1			8	4		
3	保護者と連携し宿題等の充実に積極的に取り組んでいる。	7	3			7	5		
4	「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善に努めている。	9	1			8	2	1	
5	ICT教育・英語教育に計画的に取り組んでいる。	8	2			9	3		
6	chromebookを活用した指導に積極的・計画的に取り組んでいる。	9	2			11	2		

すららやタブレットを使った親子体験の場を仕組み、保護者にもタブレットの操作に慣れてもらい、子どもたちがしていることにもっと興味をもってもらうようにしてはどうか。

4 豊かな心をはぐくむ

R5 2学期 R4 2学期

No.	評価の観点	R5 2学期				R4 2学期			
		A	B	C	D	A	B	C	D
1	「考え、議論する道徳」の授業づくりに努めている。	8	2			6	5		
2	学校・学級の課題の解決策を実践することを通して、「主体性」を育てている。	9	2			8	4		
3	児童の人間関係づくりの充実を図り、いじめや不登校の未然防止に取り組んでいる。	10	1			8	5		
4	ベル学・黙勤清掃・先挨拶の指導に取り組んでいる。	10	1			10	3		
5	夢や希望を持ちながらがんばる児童の育成に取り組んでいる。	7	4			8	5		

「夢や希望をもつ」ということはどういうことかを、しっかり伝えた方がよい。子どもたちは「夢をもつ」＝「なりたい仕事がある」というふうに思っている。そうではなく、「どんな人間になりたいのか」を考えさせてほしい。

5 健やかな体をはぐくむ

R5 2学期 R4 2学期

No.	評価の観点	R5 2学期				R4 2学期			
		A	B	C	D	A	B	C	D
1	「チャレンジカード」「体力アップ!校!プラン」「スポチャレいしかわ」に計画的に取り組んでいる。	9	1			9	3		
2	家庭や地域と連携して、食育・健康教育・安全教育に取り組んでいる。	9	2			7	6		

今年度のハーベストフェスティバルは、一年間お世話になった方々もお呼びし、感謝の気持ちを伝える良い機会となった。来年度からも続けると良いと感じた。

6 教師集団・開かれた学校

R5 2学期 R4 2学期

No.	評価の観点	R5 2学期				R4 2学期			
		A	B	C	D	A	B	C	D
1	働き方改革を意識して仕事に取り組んでいる。	7	5			5	9		
2	校務分掌は、組織的、協働的に取り組まれている。	7	5			11	3		
3	若手教員早期育成プログラムや各種校内研修を通して、教師の指導力向上に努めている。	9	2			11	2		
4	学校だよりや学級だよりを通して積極的な情報発信に努めている。	8	3			10	3		

校務分掌の内容的に得意不得意があるのは仕方ないが、決まった人が決まった仕事をし続けると、その人が欠けたときに困ることになる。複数体制を組んだり、定期的な入れ替えをしったりの方がよいのではないかと。